



発行：
東村山市民
テニスクラブ協議会
会長 川路 俊一

<http://www.higashimurayamatennis.com/>
<http://www.higashimurayamatennis.com/i.html>



運営委員会 於 柳泉園 6月8日

■久米川コート整備

荒木田は使用する前にふるいにかけ、細かく粉砕した上で使用している。まだコートに砂があり、凸凹の解消とはなっていないが、一定の効果はあがりつつある。
梅雨に入り砂が流れた後に適切なコート整備が行われれば、事態はより好転していくものと思われる。
周辺住民からローラの騒音へのクレームが出されたとのこと。体協に騒音軽減のための整備を依頼した。体協からは実態調査を行うとの回答が書面であった。

■柳杯実行委員会からの報告

開催は予定通り、7月21日(祝)、西武ドーム。
7月5日(土)、19時から市民センター第4会議室でドロー会議を行う。それまでに、監督と各チームの責任者を任命すること。
休部会員は参加資格が無いことを確認。
ジュニアの一般参加については、市民大会ベスト8以上とすることで検討中。

■35周年記念行事について

6月14日に実行委員会を行った。
今回は市民テが主催となり、教育委員会、体協および連盟の後援を得て、市民に開かれたイベントとする。

開催日は11月23日(予備日24)場所は恩多コートを予定。
9時から10時30分キッズテニスを行い、11時から17時まで記念親善試合を行う。
さらに、記念の懇親会は、11月29日(土)に市民センターで開催される市民テの忘年会の中で行う予定にしている。
また、30周年以降の市民テの歩みをホッチキス止めの資料スタイルとしてまとめる。
なお、キッズテニス、親善試合の際に使えるような景品があれば是非ご提供下さい。また、懇親会で使用するための飲み物についても、皆様からの寄付をお願いいたします。ご協力いただける方は、各クラブの実行委員にご連絡下さい。

■技術部

35周年イベントを支援するために、小松山部長と市原副部長が同実行委員会に参画する。
スクール用備品としてホワイトボードを購入。
毎月第2日曜日に7中で13時~15時までを技術部練習会とし、15時~17時を一般向けチャレンジ練習会とする。

■広報部

ガットでは残念ながら写真が綺麗に印刷できないが、HPではカラフルな写真を掲載している。コスト削減の意味から是非ガットの郵送を中止し、HPを見ていただきたい。

■各クラブからの連絡

- ・ 萩山 7/12(土) 17:00-21:00 恩多 ABC
7月から古村 敏之さんが正会員に復帰
- ・ 青葉 7/5(土) 17:00-19:00 恩多 AB
19:00-21:00 " ABC
7/12-13 軽井沢ゆうすげ温泉旅館で合宿
- ・ 栄 7/20(日) 17:00-21:00 " ABC
- ・ 諏訪 7/19(土) 17:00-21:00 " ABC
- ・ 美住 7/26(土) 17:00-21:00 " ABC

7月のコート

7月21日(祝日)は「柳杯」のためコートは確保されていません。

	西校		村校	
7/5(土)	am 萩山	—	am 栄	pm 諏訪
/6(日)	am 栄	pm 青葉	—	—

数字は久米川コート、英字は恩多コート

	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	26(土)	27(日)
7-9	A,B,C	A,B,C	A,E	A,B,C	A,E	A,E	A,E	A,B
8-9	—	1,2,3,5	—	1,2,3,5	—	1,2,3,5	—	1,2,3,5
9-11	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3,5
11-13	1,2,3	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5
13-15	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5
15-17	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5
17-18	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5

ナイター	19:00-21:00
7/2	A,B,C
7/9	A,B,C
7/16	A,B,C
7/23	B,C
7/30	A,B,C

《市内クラブ対抗戦の生い立ち》

萩山クラブ 武谷 直也 (東村山市テニス連盟理事長)

「ガット」編集部から、通称「太田杯」と呼ばれている春季大会の男女別のクラブ対抗戦について、その歴史などを記してほしいとの依頼を受けましたので手短かに述べさせていただきます。

1976年10月10日に東村山市体育協会と、新潟県の柏崎市体育団(当時)が姉妹関係の契りを交わしました。この仲人役が、実は柏崎出身の故太田芳郎氏でした。太田氏は、昭和の初期、テニスの選手として日本だけでなく広く欧米で活躍され、戦後は日本テニス協会の役員として尽力されたと同時に、在住の東村山市の教育委員長や体育協会会長などを長年務められ、晩年は、東村山市テニス連盟の会長として、1994年に94歳で永眠されるまで17年の長きにわたってテニス連盟の指導に携わってこられました。このような背景があつて、テニス連盟は、体育協会に加盟する他の連盟に先駆けて早速1977年に氏の冠を頂いた「太田杯争奪東村山市・柏崎市親善対抗テニス大会」と連盟に加盟するクラブ相互の親睦と競技力向上を目的に「太田杯争奪東村山市内団体戦」(今日では、太田杯争奪市内クラブ対抗戦)を開催しました。その後も引き続き両大会とも途絶えることなく開催され今日に至っています。

第一回と第二回の市内団体戦は、連盟に加盟するクラブの会員が男女混合であったことから、男女込みの大会でしたが、女性会員だけのクラブが連盟に加盟したこともあって、1979年の第三回からは、男女別に大会が開催されるようになりました。今年、男子の部が32回で、女子の部が30回と異なっているのはこのような経緯からです。

男女別々の大会になってからは、より多くの会員が参加できるようにと1クラブの参加チーム数を増やしてきました。昨年からは、連盟外の市内のテニスクラブにも参加を呼び掛けていますが、市民テの皆さんも積極的に参加して戴き大いに大会を盛り上げてほしいものです。

《私とテニス》 青葉クラブ 谷村 美和

5年前に子供のママ友達に誘われサークルに入り、ついでのようにとスクールにも入り、友達とのおしゃべりの延長で始めたようなテニス。

その頃はまさか！こんなに！テニスに夢中になってしまうなんて、おもっていませんでした。

今でこそ少し落ち着きましたが、一時は毎日球を打ちたい！考えるのはテニスの事ばかり・・・

まるで、テニスに片思いしてしまったようでした。(笑)

それまで中学から続けていたバスケットに体力の限界を感じ始めていた私にとって、テニスはとても楽しくて、これから上達できて、色々な年齢の方とも打ち合う事のできる素敵な存在となりました。

市民テに入ったことで、益々テニスの輪が広がり、益々上達する事を期待したいと思っています。

まだまだボケる事が多くご迷惑をかけてしまうと思いますが、温かい目で見守りつつ、

優しく！アドバイスをよろしく願いいたします。



《元気がでるテニス》 萩山クラブ 山本 康之

私は子供の頃から球技が大変好きでした。しかし、飽きっぽく一番長く続いている球技が四十歳からはじめたテニスです。



これまでに、積極的に手を出した他の球技は、つぎのとおりです。野球、パチンコ？、バレーボール、サッカー、インディアカ、グランドゴルフ、ソフトボールなどです。ではなぜテニスだけが続けているか？一緒にやろうと妻の勧めで始めましたが、いまでも年甲斐もなくワクワクドキドキして一番元気になれるからのようです。

さて市民テで練習を開始したとたんに、自分の不注意で転んで利き腕の親指を骨折してしまいました。

二ヶ月間休んで、悶々としている時、クルム伊達の12年ぶりの復帰戦を見ました。シングル準優勝、ダブルス優勝に本当に感激し、その勢いで私も再開することにしました。やってみてまだ違和感がありますが、ラケットを軽めに変更して調子が上がってきました。夏合宿が楽しみです。皆様と楽しく元気にやりたく、今後ともよろしく願います。

《私とテニス》 萩山クラブ 森 美沙子



私がテニスを始めたきっかけは、中学校で硬式テニス部に入部したことです。「テニスをやろう」という気持ちは全くなく、仲の良い友人が入部するからといった理由でした。

しかし、練習を重ねるにつれて、テニスはおもしろくて奥が深いスポーツだと分かりました。高校に入学してからも硬式テニス部に入部しました。そこで様々な人と練習するにつれて、自分のテニスができるようになりました。すると、自分の中で「テニスをやりたい」という気持ちが芽生えました。市民テ入ってもその気持ちは変わりません。ひとつひとつの練習を大事にし、自分のレベルを上げられるように頑張りたいです。

《編集後記》

「太田杯」と言ってもそれが何であるか私も含めてピンとはこない人も多いと思い、連盟理事長の武谷さんに解説いただきました。(松井 和則)

Golden Weekを利用してイギリスを訪れました。さすが大英帝国時代に築いた富の大きさに圧倒されました。せっかくと思い、ウィンブルドンにも足を運びました。残念ながらセンターコートは大改装中で見学はできませんでした。2009年の大会までには開閉式の屋根が設置されるそうです。

フェンス越しに見える11～15番コートの芝はまったく羨ましいほどきれいなものでした。キッズスクールがちょうど行われており、小学低学年とおぼしき子供たちが元気な声を出していました。こんな環境であの年齢からテニスができるのかと嫉妬の気持ちが沸いてきました。(古村 浩三)